

プラ、プッタバート、タモ寺院

Wat Phraputtabat-tamo T.Pongtung A.Doitao C.Chiangmai 50260



プラ、プッタバート、タモ寺院の略歴

タイ北部は仏足跡信仰が盛んで、仏足跡のある場所は靈驗あらたかな場所として尊ばれています。現在のプラ、プッタバート、タモ寺院がある区域には六ヶ所の仏足跡があり、年代記録のない古い時代、二人の仙人がこの場所で修行生活を送ったという伝承があります。修行に適した静寂な土地にあるこの寺院には、山岳民族であるカレン族の信仰を集めたカオピー師が住職として1924年から三十三年間止住し、初期の五年間はカレン族の仏教徒が山の斜面に石垣を積んで造成する工事を行い、その土地に布薩堂(写真下)や僧房が建てられました。

現在(2021年6月)、当寺には下記の四名の日本人比丘(bhikkhu びく)が止住しています。

マハーブンニョー比丘、パンニャーシッポー比丘、パンニャーワロー比丘、ターナタンモー比丘。